

企業名	神村電機工業株式会社
実行日	2024年1月31日
実施時期	2026年2月
コメント	<p>KPI達成に向け着実に進んでいる。</p> <p>① 環境配慮経営の推進</p> <p>【2024年までに温室効果ガス排出量削減に向けた算定の開始および削減目標の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング時点では算定は未実施であるが、今後は電気使用量の把握および削減等から取り組みを開始する方針である。 <p>【2025年までに太陽光発電パネルを1基設置する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング時点では未導入であるが、設置に向けた検討を継続して進めていることを確認した。 <p>【更なるペーパーレス化を推進し、2025年までに紙使用量を2022年度比75%削減する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顧客との情報共有や図面のデータ化を進めた結果、紙使用量は概ね70%程度まで削減されていることを確認した。 <p>② 高品質な生産体制の確立と制御盤分野における幅広い業種への展開</p> <p>【2034年度までに売上高20億円を達成する】</p> <p>【2034年度までに当社売上に占める主要取引先1社以外のシェアを50%以上にする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大手企業との新規取引が開始されており、2026年10月期以降は、売上高および主要取引先1社以外の売上シェアが拡大していく見通しであることを確認した。 <p>【2034年度までにCFA事業（半導体工場の搬送システム向け制御盤）の売上割合を40%以上にする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取引先の方針転換等の影響により2024年度の売上割合は、1%程度に留まっているものの、新規事業として継続して取り組んでいく方針である。 <p>【2025年度までに食品関連機械の制御盤の売上割合を10%にする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品関連分野の売上割合に大きな変化はないものの、河川水門制御等、工作機械関連以外の分野の売上割合は5%程度まで増加している。 <p>【2026年度までに労働生産性向上のためDX推進室を設置する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専任組織の設置には至っていないものの、現場の意見を踏まえた発注業務や在庫管理のシステム化等が進められており、DX推進に向けた社内風土が醸成されていることを確認した。 <p>③ 人材の育成・働きやすい職場環境の整備</p> <p>【2025年度までに確定拠出年金制度導入による福利厚生の充実を図る】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2026年2月時点では導入されていないが、継続して検討されていることを確認した。 <p>【2024年度に健康経営優良法人認定を取得し、以降毎年認定を取得する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2026年度の健康経営優良法人に認定済みである。 <p>【業務中の重大な労災事故発生件数を0件にする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024年度の重大な労働災害事故は0件であることを確認した。 <p>【コンプライアンス及び下請け法に関する社内研修の継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2026年2月時点では定期的ではないが実施しており、実施回数の増加も含め、今後実施方法について検討していくことを確認した。